

和歌山工業高等学校定時制

実施日時	令和3年 10月8日(金) 18:45~20:20
参加者	生徒5名、教職員8名、地域住民等0名 計13名
実施内容	救急救命講習(心肺蘇生法およびAEDの取り扱いについて)

ねらい

- 1 近い将来予想される南海トラフ地震をはじめとする自然災害に備え、防災への意識を高める。
- 2 会貢献できる地域防災の担い手として活躍できる、防災リーダーの育成を図る。

主なプログラム

- 1 救急現場の状況 : 和歌山市中消防署南分署
- 2 心肺蘇生法とAED : 和歌山市中消防署南分署
- 3 感想文 : 1年クラス担任

概要

- 1 和歌山市消防局中消防署南分署の協力のもと実施した。
- 2 署員による講義と実演。
- 3 署員の指導による生徒や教員の演習。(指導は南分署員)

参加者感想文

- ・ 応急手当の重要さや必要性に気付いた。
- ・ AEDが身近にあることが分かった。
- ・ 今日の体験が倒れている人を助けるために役立てたいと思った。
- ・ 防災の講演を聞いて数々の医学や体の構造などを学べた。
- ・ 動画や実演を体験し、勉強になった。

成果と課題

【成果】

参加生徒全員真剣に取り組み、実際の救命処置が理解できたようである。物静かな生徒達であるが、一生懸命に実習を行い達成感に浸っていた。生徒たちは、何事にも挑戦し結果如何にかかわらずやり遂げることの大切さを改めて実感した。

今後は職場や地域において救急救命活動等にボランティアとして積極的に参加し、社会に貢献できる人材となることを期待している。

【課題】

参加生徒数が予定よりも少ないことは毎年の課題である。

救命講習については、参加人数の加減もあり、来年度は実施内容の検討に迫られる。

